

第2回戦術委員会確認事項

2013年1月21日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日10時より開催した第2回戦術委員会において、2013年闘争の進め方を以下のとおり確認した。

1. 各産別は、現在、順次中央委員会を開催し、産別としての闘争方針を決定しつつある。今後、集計登録組合を中心に2月22日(金)までに要求提出を行い、ただちに交渉を開始する。
2. わが国経済は、円高が是正されつつあるものの、デフレの継続や経済連携協定締結の遅れ、電力不足等により、依然として厳しい環境にある。労働組合をはじめとする日本全体が総力を挙げてデフレ脱却を図ろうとしている中で、デフレ解消に対して経営者も主体的に役割を果たさなければならない。
金属産業は、地方を中心に国内産業空洞化がすでに進行し、国内立地を維持できるかどうかの正念場に立たされている。技術・技能を蓄積し、それに相応しい処遇によって高めた現場力こそが日本企業の強みであり、この強みにさらに磨きをかけなければならない。
3. 2013年闘争では、経営の総額人件費抑制の姿勢を打破し、賃金構造維持分の確保等による賃金・労働条件の下支えの徹底と、必要な賃金改善を求める等、「人への投資」を求めていく。
なお、1月22日に発表予定の経団連「経営労働政策委員会報告」に対して、同日、金属労協としての見解を発表する。
4. 金属労協は、連合金属共闘連絡会議との連携の下、3月13日の集中回答日に向けた主要日程を設定し、金属労協の総力を結集して闘争を推進する。
5. 第3回戦術委員会は、2月20日(水)午前10時より開催する。

以上

2013年闘争の当面の日程

2013年 1月 21日（月） 15:30 第1回中央闘争委員会・第6回常任幹事会
22日（火） 13:00 2013年闘争推進集会
23日（水） 13:00 2013年度最低賃金連絡会議
2月 20日（水） 10:00 第3回戦術委員会・第6回三役会議
15:30 第2回中央闘争委員会・第7回常任幹事会
集計登録組合を中心に、2月22日までに要求提出
8日（金） 9:00 第4回戦術委員会・第7回三役会議
13日（水） 集中回答日
11:00 第6回戦術委員会
12:00 記者会見
15:30 第3回中央闘争委員会・第8回常任幹事会
26日（火） 16:00 中堅・中小労組登録組合記者会見

以上